

平成29年度 今治市障害者文化体育施設指定管理者モニタリング結果

<b>施設名</b>	今治市障害者文化体育施設（サン・アビリティーズ今治）
<b>所在地</b>	今治市喜田村二丁目1番10号
<b>指定管理者</b>	<p><b>名 称</b> 社会福祉法人 来島会</p> <p><b>代表者</b> 理事長 越智 一博</p> <p><b>住 所</b> 今治市北宝来町二丁目2番地12</p>
<b>モニタリングの実施方針・方法等</b>	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
<b>担当部課 (問合せ先)</b>	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>全職員に条例・規則・仕様書を熟読させ、不明な点は所長より説明を行いました。また、施設の設置目的や指定管理制度についても職員ミーティングや研修を通して、全職員が共通認識を持って業務にあたりました。利用者に対しては、講座受付時や利用抽選時等で施設の設置目的等を繰り返し説明させていただくとともに、館内掲示等にて情報を発信し、障がい者の活動にご理解・ご協力をいただきました。</p>	A	<p>職員は施設の設置目的や管理運営方針等を理解し、適切な運営が行われています。利用者に対して、受付や予約の抽選時に設置目的を説明、館内掲示による周知により理解を求めています。</p>
利用状況	B	<p>○数値から見て 総利用人員は、昨年度より2,550人減少しました。内障がい者利用者数は、昨年度より143人増加し、障がい者割合は0.8%増加しました。</p> <p>○背景から見て 障がい者利用については、団体利用が増加しており、その背景には、やはり愛顔つなぐえひめ大会の開催年であったことが挙げられます。殆どの競技種目団体が施設を定期的に利用している状況です。また、多目的室の利用については、カラオケや楽器の練習、サウンドテーブルテニス等の利用が増えたことにより、障がい者の利用が50%以上となっています。障がい者割合についても、目標としていた20%を達成しました。総利用人員については、目標としていた75,000人を上回ることができました。さらなる障がい者利用の増加を目指していく中で、一般利用が減少することも考えられますが、効率の良い施設利用に努め、76,000人を目指していきたいと思っています。</p>	B	<p>障がい者利用が前年に比べ増加しており、愛顔つなぐえひめ大会の開催年であったことによる競技種目団体の定期利用が影響しております。障がい者割合も20%超であり目標達成しております。ただ、一般利用が減少しており総数でも減少しています。大会終了の影響がでると考えられますが、今年度と同程度の利用実績を達成できるよう今後に期待します。</p>
事業収支	A	<p>施設利用料については、全額市へ納入しました。経費節減に努め、お客様からご要望をいただいているものや経年劣化等により修繕が必要なものに可能な限り経費を充て、お客様に還元しました。</p>	A	<p>経理手続きを適正に処理できています。期別収支もプラスとなっており、経費節減に努めながら、利用者に還元をしています。引き続き円滑な事業運営に努めてください。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
<p align="center"><b>管理運営体制</b></p>	<p align="center">A</p>	<p>○人員配置</p> <p>事務員はお客様への更なる接遇向上のため、引き続き2名体制とし、給与等の支払い事務等については、法人本部の担当者が実施し、簡素化・効率化を図りました。スポーツ指導員は3名配置とし、事務員1名を含め、障がい者スポーツ指導員は4名体制としました。</p> <p>○有資格者の配置</p> <p>障がい者スポーツ指導員、上級体育施設管理士、防火管理者、限定インストラクター等の資格を有する職員を配置し、スポーツ指導、窓口対応、緊急時対応、施設管理運営の全てにおいて、有資格者を配置しました。このことにより、障がい者や地域の方を中心としたお客様の多様なニーズにお応えするとともに、安心してご利用いただけるように努めました。</p> <p>○研修</p> <p>法人が実施する法人内研修に参加し、障害に関する専門的な知識を深めました。また、全職員に対し、各種マニュアルを基に施設内研修を実施し、特に、緊急時対応については確認・徹底しました。さらには、普通救命講習及びさすまたを用いた防犯教室を実施し、法人全体で緊急時に迅速に対応できる体制を整えました。施設外研修として、上級障がい者スポーツ指導員養成講習会に参加し、新たに資格を取得するとともに、地域で開催される様々な研修会に可能な限り参加し、知識を深めました。学んだ内容については、施設に持ち帰り、再度施設内研修として実施し、全職員で共有しました。</p> <p>○その他</p> <p>勤務時間が異なるため、職員は毎日のミーティングを実施するとともに、引き継ぎ帳のシステムを改良し、活用しました。特に、日中職員から夜間勤務者への引き継ぎを徹底し、漏れないように報告・連絡・相談ができる体制を整えました。</p>	<p align="center">A</p>	<p>昨年度と同数の人員配置で対応し、職員も夜間受付窓口の1名が変わったのみとなっており、経験者が揃っております。</p> <p>障がい者スポーツ指導員、上級体育施設管理士、限定インストラクター等、当施設を管理する上で有用な資格所持者を配置しており、指導員のみならず事務員にも障がい者スポーツ指導員の資格を持つ人員を配置するなど、利用者のニーズに対応できる運営体制ができています。</p> <p>研修について、昨年度に引き続き普通救命講習やさすまた教室を施設職員を含めた法人全体で取り組み、利用者の安全確保に努めています。施設外研修について昨年度より減少していますので、職員が専門的な知識や資格を取得する機会の促進をお願いします。</p> <p>開館時間が長時間であるため、勤務時間が職員ごとに異なる状況に対応するため、ミーティングとともに引継ぎ帳システムを改良し、対応を取るなど連絡体制を構築しています。</p> <p>引き続き利用者の相談等に対応できる管理運営体制をお願いします。</p>
<p align="center"><b>管理運営業務</b></p>	<p align="center">A</p>	<p>除草については、清掃委託業者が実施するとともに、職員も随時実施しました。清掃業務については、全職員が出勤後・退勤前の簡易清掃を徹底するとともに、毎月第2月曜日を館内清掃日とし、気持ちよくお客様をお迎えするように心掛けました。業務基準が示されている事項については、それに基づいて確実に実施しました。業務基準以上の事項についても積極的に実施しました。特に、市からのご指摘もあり、不具合が生じていたエアコン(ガス)について、業者による点検を実施しました。また、障がい者団体の活動についても、ロビーに物品販売スペースを可能な限り確保し、お客様にも喜んでいただいています。</p>	<p align="center">A</p>	<p>仕様書の基準を超える回数を実施しています。また、職員のみならず利用者も使用後にはモップがけするなど施設を大切にしてくれています。</p> <p>設備の管理について、一部不具合が出ていますので簡易修繕や状況観察をお願いします。</p> <p>その他、障がい者団体の活動支援や、運営委員会を開催し管理運営についてさらなる改善を外部委員より意見を求めるなど、自己改善がしっかりとできています。よりよい管理運営を引き続きお願いします。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	A	<p>施設の利用調整・受付等の業務については、基準に基づき適切に実施しました。利用促進については、祝30周年記念イベントを盛大に開催させていただいたこともあり、目標を達成することができましたが、さらに多くの障がい者に参加していただけるような事業を展開していきたいと思っていますので、各イベント終了後、参加者を対象にアンケートを実施し、その結果をもとに、随時見直しをしていきたいと思っています。宣伝広報業務については、館内掲示板・法人ブログを活用し、随時情報を提供・更新することにより、イベント参加や障がい者活動の周知に繋がりましたので、継続していきたいと思っています。また、今年度は新たにサン・アビ通信を月1回発行し、情報発信に努めました。誘致活動業務については、各イベントに積極的にご協力させていただくことにより、多くの障がい者団体の活動を誘致しました。</p>	B	<p>利用申請・許可について、条例に基づき適切に許可されています。利用促進について、活動を法人ブログに掲載、イベント写真を館内に掲示、新たに毎月サン・アビ通信を発行し施設内に掲示するなど積極的に活動を広報しています。今後は文字や写真の大きさ、フリガナ等さらに分かりやすくするために改善するところがないか確認をお願いします。また、利用実態基礎データの収集・分析について今後の利用者確保のために新たな方法等検討をお願いします。</p>
その他業務	A	<p>各種マニュアルの作成・研修を積極的に実施し、災害時・緊急時に迅速かつ正確に対応できる体制づくりに努めました。また、障害者・一般ともに高齢者の利用が増加しており、体調が急変する方も珍しくありません。そのため、新規採用職員及び受講後2年を経過する職員を対象に普通救命講習を実施し、緊急時に備えました。個人情報の取扱については、職員への教育を徹底しました。当施設は災害時の広域避難所となっており、東日本大震災や熊本地震の事例を参考に、災害時における行政や地域住民との協体制の確立が今後の必須課題及び市との協議事項として考えています。</p>	A	<p>各種マニュアルを整備し事務所に掲示しています。体育施設であるためケガの発生は避けられないことでもありますので応急手当や保険手続き、AEDの使用などしっかりと練習・対応できています。個人情報について職員へ適宜周知し意識啓発しています。災害時の避難所として指定されていますので、近隣自治会との連携をお願いします。</p>
修繕業務	A	<p>経年劣化、破損等によるものは可能な限り修繕しました。また、屋外アーチェリー場の防矢ネットが破損(9月に発生した台風の影響と思われる)しておりましたので、閑散期を利用して修繕しました。体育室の照明修繕が頻繁になっており、教箇所の電球を同時に修繕する等の工夫をしていきたいと思っています。現在、体育室のカーテンにつきましても、お客様より修繕要望が多数挙がっていますので、これまでに今治市に要望させていただいている屋外多目的トイレ、駐車場高木撤去等と合わせて、引き続き、前向きなご検討をお願いします。また、駐車場の舗装部分もひび割れや穴が多数発生し、中には危険な箇所もありますので、施設側としても、今治市と協議させていただきながら、できる限り積極的に修繕を実施し、安心してご利用いただけるように努めていきたいと考えています。</p>	B	<p>施設や設備の老朽化による故障や破損が多くなっています。日頃より施設の状態を確認し、適宜修繕ができていますので、今後は修繕計画書に基づいた計画的な早めの修繕をお願いします。</p>
備品管理業務	A	<p>お客様からご要望をいただいているものや自主事業等で内容を充実させるために必要なものは、積極的に購入しました。老朽化に伴う損傷箇所が多くなっており、修繕が難しいものは、安全性を第一に考え、積極的に購入していきたいと思っておりますが、今年度は修繕費が計画よりも大幅に必要となりましたので、購入を控えさせていただきました。来年度は、アンケート等お客様からご要望をいただいているものにつきまして、必要なものは積極的に購入していきたいと思っています。</p>	B	<p>老朽化や目に見える損傷について、利用者の安全に関わることとなりますので、適宜入れ替えをお願いします。また、アンケート等利用者からの要望を精査しながら購入検討をお願いします。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	<p>自動販売機を3台設置し、お客様へ飲料水を提供するとともに、視覚障がい者の方のご意見より、点字シールを一部の商品ボタンに貼り付けました。また、障がい者団体の活動については、ロビーに物品販売スペースを可能な限り確保し、イベント前には物品の補充をお願いしました。選挙事務の際は、選挙管理委員会の指示のとおり、適切に処理しました。</p>	A	<p>目的外使用について、預かった書類を速やかに市へ提出できています。利用者の水分補給のための自動販売機、障がい者団体の物品販売のスペース確保、選挙事務への利用調整協力等適切に対応できています。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	A	<p>○定期講座</p> <p>スポーツ教室18講座・文化講座6講座の合計24講座を開催し、申込人数は障がい者543人、一般1440人の申し込みをいただきました。申込人数は昨年度よりも93人減(内障がい者の申込人数は3人増加)しました。しかしながら、スポーツ教室については講師のご理解・ご協力はもちろん、障がい者スポーツ指導員を4名配置し、申し込み時におけるニーズの把握や情報共有に努めたことにより、障がい者の状況や能力に応じた適切なプログラムを提供することができたと考えています。また、教養文化趣味講座についても、講師や受講者が障がい者に対するご理解・ご協力をいただき、障がい者の方が受講しやすい雰囲気づくりに努めていただいております。</p> <p>○不定期講座</p> <p>前回好評であった書道教室(知的障がい者を対象として単発的に実施)を、今年度はチャレンジ書道教室として単発から短期講座へ移行し、年3回開催いたしました。また、昨年に引き続き夏場の施設利用促進を目指し、冷房設備のある会議・研修室を活用して夏期講座を開講しました。その中に、アンケート等によるお客様のご要望が多数あった絵手紙講座を新設いたしました。絵手紙講座はとても好評でしたので、平成30年度は新たに定期講座(年間10回)として開講予定です。</p> <p>○イベント</p> <p>今年度は愛顔つなぐえひめ大会開催年であることから、例年よりも各障がい者スポーツイベントを例年よりも早く開催し、よりチームのレベルアップを図るために、県外から選手やチームをお招きし、強化試合を行いました。また、愛顔つなぐえひめ大会への観戦(応援)のご協力をいただけるように、イベントのちらしに開催日程や場所を掲載し、施設利用者をはじめ、地域の方々への愛顔つなぐえひめ大会の周知に力を入れました。その結果、愛顔つなぐえひめ大会の観戦はもちろん、愛顔つなぐえひめ大会終了後も、当施設が主催の障がい者スポーツイベント(大会)に観戦に来てくださる方が増加いたしました。また、当施設は開館30周年を迎え、20年以上愛され続けてきたサン・アビ「五もくまつり」を1日限りで復活させる形で開催いたしました。「五もくまつり」の復活と単独で開催している「ダンス交流会」を盛り込むことによって、新旧の利用者への感謝還元はもちろん、交流の場として提供することができました。</p> <p>○その他</p> <p>講座・イベントともに、当初の事業計画と変更する場合は、その都度、市と協議し、アドバイスをいただきながら、適切に実施しました。</p>	A	<p>講座について、基本的に前年度より利用者が減る傾向がある中、以前より要望のあったヨガを新規講座として開始したことにより、利用者減に歯止めがかかっています。また、昨年度に引き続き夏期講座を実施することで、利用の少ない夏場の施設の有効活用ができています。</p> <p>イベントも愛顔つなぐえひめ大会にからみ各種大会の応援も多く賑わいを見せました。また、30周年と節目の年であることから五もくまつりを復活させるなど、積極的な取り組みの多い1年でした。えひめ大会は終わりましたが、2020年の東京パラリンピックの開催を控え、さらなる障がい者スポーツへの熱が高まりつつありますので、この機会を逃さず有効な施設利用をお願いします。</p>
地域団体との連携	A	<p>イベントの開催においては、愛媛県アーチェリー協会・四国車いすバスケットボール連盟をはじめ、多くの関係団体の皆様のご協力をいただきました。特に、愛顔つなぐえひめ大会の開催年でしたので、愛媛県障がい者スポーツ協会をはじめ、県レベルでのご協力をいただきました。また、地域に福祉の輪を広げるため、毎年近隣の小学校にご協力をいただき、福祉体験を実施しています。さらには、イベント時において、今治市内の高等学校や今治明德短期大学等の学校に快くご協力をいただき、少しずつではありますが、障がい者の活動への理解や福祉の輪が地域に広がっていると実感しています。</p>	A	<p>愛顔つなぐえひめ大会もあり、多くの障がい者団体との関りが平年より多い1年でした。引き続き関係機関との連携を継続お願いします。また、福祉体験学習へも協力し、小中学生への障がいへの理解に協力できています。今後は災害時の避難施設としての役割から近隣住民との連携の機会を設けるよう期待します。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	A	イベントの終了後に参加者(団体)にアンケートを実施しました。毎回実施している全体的な項目についてのアンケートは、良かった点・改善点を真摯に受け止め、次回に活かしたいと思っています。スタッフの対応については、どのイベントでも満足していただいておりますので、より配慮のある対応を心がけていきたいと思っています。なお、ご意見・ご要望に対し、施設として対応した事項につきましては、サン・アビ通信に掲載してお知らせしました。来年度もアンケートを実施し、活用していきたいと思っております。	A	アンケートの回収率を上げるため、直接回収できるよう渡すタイミングを工夫しています。また、改善要望に対し分析、対応策も提示されています。アンケートの総数が経費の関係もあり決められていますが、配布資料がある場合、用紙の一部を切り取り感想欄にする等さらに意見を収集できる方法の検討をお願いします。
事故・苦情	A	定期講座や自主活動中のケガが多数発生しておりますので、定期講座の講師・利用団体の代表者に準備運動の徹底を図り、ケガの予防に努めていただきました。また、職員は発生したケガや起こりうる事故について話し合う機会(リスクマネジメント)を作り、予防に努めました。事故が発生した場合に迅速な対応ができるように、全職員に緊急時対応について研修を実施するとともに、対象者(新規採用職員及び受講後2年経過する職員)には普通救命講習を実施しました。	A	体育施設あるため、運動に伴うケガが発生しますが、前年度16件に比べ今年度は5件と大幅に減少しております。運動開始前の講師や利用団体の代表者への声掛け、運動前の健康状況の確認をお知らせする掲示等日頃からの小さな積み重ねがケガの予防に繋がっていると思います。また、事故対応時の応急手当等指導員が対応できる体制となっています。引き続き安全利用できる施設環境をお願いします。
指定管理者の経営状態			貸借対照表、事業活動計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

## 総 合 コ メ ン ト

市内唯一の障害者文化体育施設として、障がい者の教養、文化及び体育の向上、障がいのある方の機能回復、健康増進を目的に事業運営が行われています。利用者ニーズを掴み多様な講座を開催するとともに、障がい者スポーツ指導員を配置する本施設は障がい者スポーツの中核を担う存在となっています。2020年の東京パラリンピックを前に障がい者スポーツへの熱が高まる中、今治市内での活動を応援し、また一般の方の理解に繋がる活動を続けていただけるよう期待します。

また、体育施設としてのみならず避難施設としての役割もあります。「まさか」ではなく「いつか」は起きる災害です。近隣住民と協力し、運営する体制の構築をお願いします。